

千葉県鉱工業指数月報

平成27年(2015年)基準

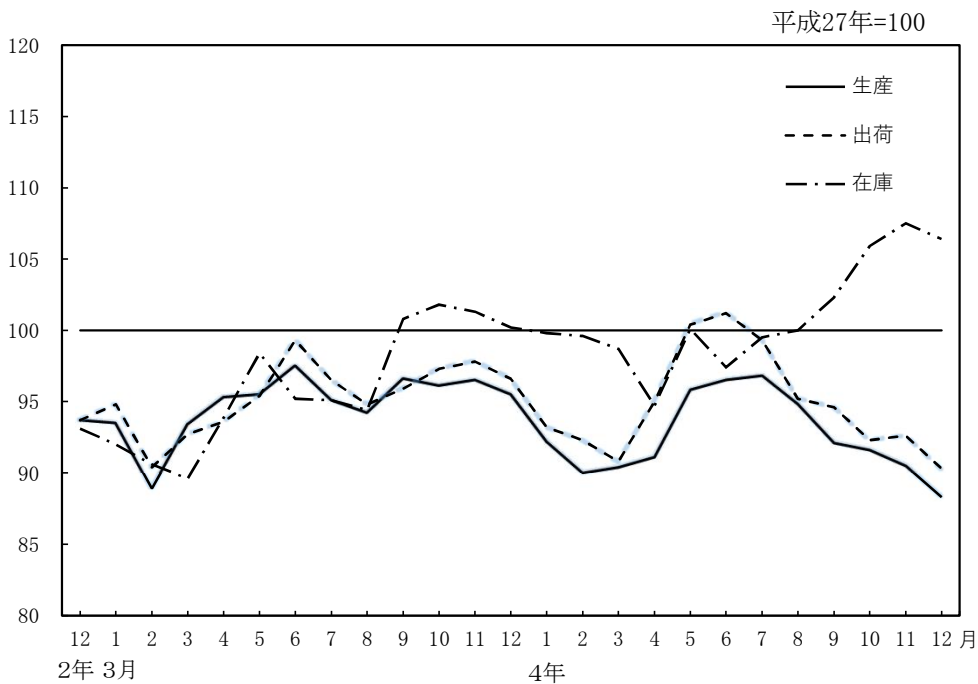
令和4年12月分

令和4年第IV四半期報(10月～12月報)

—生産指数は前月比△2.4%と5か月連続の低下—

- ・生産指数(季節調整済指数)は, 88.3で前月比△2.4%と5か月連続の低下。
- ・出荷指数(同)は, 90.3で前月比△2.5%と2か月ぶりの低下。
- ・在庫指数(同)は, 106.4で前月比△1.0%と6か月ぶりの低下。

鉱工業指数の推移(季節調整済指数)



令和5年2月

千葉県総合企画部統計課



千葉県マスコットキャラクター

チーバくん

〈令和4年12月の動き〉

概況(季節調整済指数)

- 生産指数は、88.3で前月比△2.4%の低下となりました。
業種別にみると、輸送機械工業、汎用・業務用機械工業等が上昇し、電子部品・デバイス工業、石油・石炭製品工業等が低下しました。
- 出荷指数は、90.3で前月比△2.5%の低下となりました。
業種別にみると、輸送機械工業、汎用・業務用機械工業等が上昇し、電子部品・デバイス工業、石油・石炭製品工業等が低下しました。
- 在庫指数は、106.4で前月比△1.0%の低下となりました。
業種別にみると、食料品工業、非鉄金属工業等が上昇し、生産用機械工業、汎用・業務用機械工業等が低下しました。

第1表 鉱工業指数の状況

項目	季節調整済指数		前月比 (%)	原指数		前年同月比 (%)
	4年11月	4年12月		3年12月	4年12月	
生産指数	90.5	88.3	△ 2.4	101.5	92.9	△ 8.5
出荷指数	92.6	90.3	△ 2.5	105.2	97.2	△ 7.6
在庫指数	107.5	106.4	△ 1.0	97.0	103.0	6.2
在庫率指数	125.9	126.9	0.8	100.6	114.6	13.9

第2表 鉱工業指数の推移

年月	3-12	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-9	4-10	4-11	4-12	前月比(%)
生産指数	95.5	92.2	90.0	90.4	91.1	95.8	96.5	96.8	94.8	92.1	91.6	90.5	88.3	△ 2.4
出荷指数	96.6	93.2	92.3	90.8	95.0	100.4	102.1	99.3	95.2	94.6	92.3	92.6	90.3	△ 2.5
在庫指数	100.2	99.8	99.6	98.7	94.7	100.1	97.4	99.5	100.0	102.3	105.9	107.5	106.4	△ 1.0
在庫率指数	111.4	119.1	119.1	116.0	107.3	103.4	98.5	107.0	115.3	119.1	125.3	125.9	126.9	0.8

第3表 業種別動向

項目	上 昇		低 下	
	業 種	品 目	業 種	品 目
生産指数	輸送機械工業 28.1	特装ボデー	電子部品・デバイス工業 △ 12.9	アクティブ型液晶パネル(中・小型)
	汎用・業務用機械工業 13.2	蒸気タービン部品	石油・石炭製品工業 △ 11.0	軽油
	プラスチック製品工業 2.4	プラスチック製容器	鉄鋼業 △ 9.7	粗鋼
出荷指数	輸送機械工業 232.9	特装ボデー	電子部品・デバイス工業 △ 15.7	アクティブ型液晶パネル(中・小型)
	汎用・業務用機械工業 8.4	運搬用クレーン	石油・石炭製品工業 △ 5.5	軽油
	電気・情報通信機械工業 6.9	医療用超音波応用装置	化学工業 △ 5.4	合成洗剤
在庫指数	食料品工業 11.0	混成酒	生産用機械工業 △ 32.9	シヨベル系掘削機械
	非鉄金属工業 6.4	通信用ケーブル光ファイバ製品	汎用・業務用機械工業 △ 8.6	ポンプ
	金属製品工業 4.4	かさね板ばね	石油・石炭製品工業 △ 4.7	ジェット燃料油

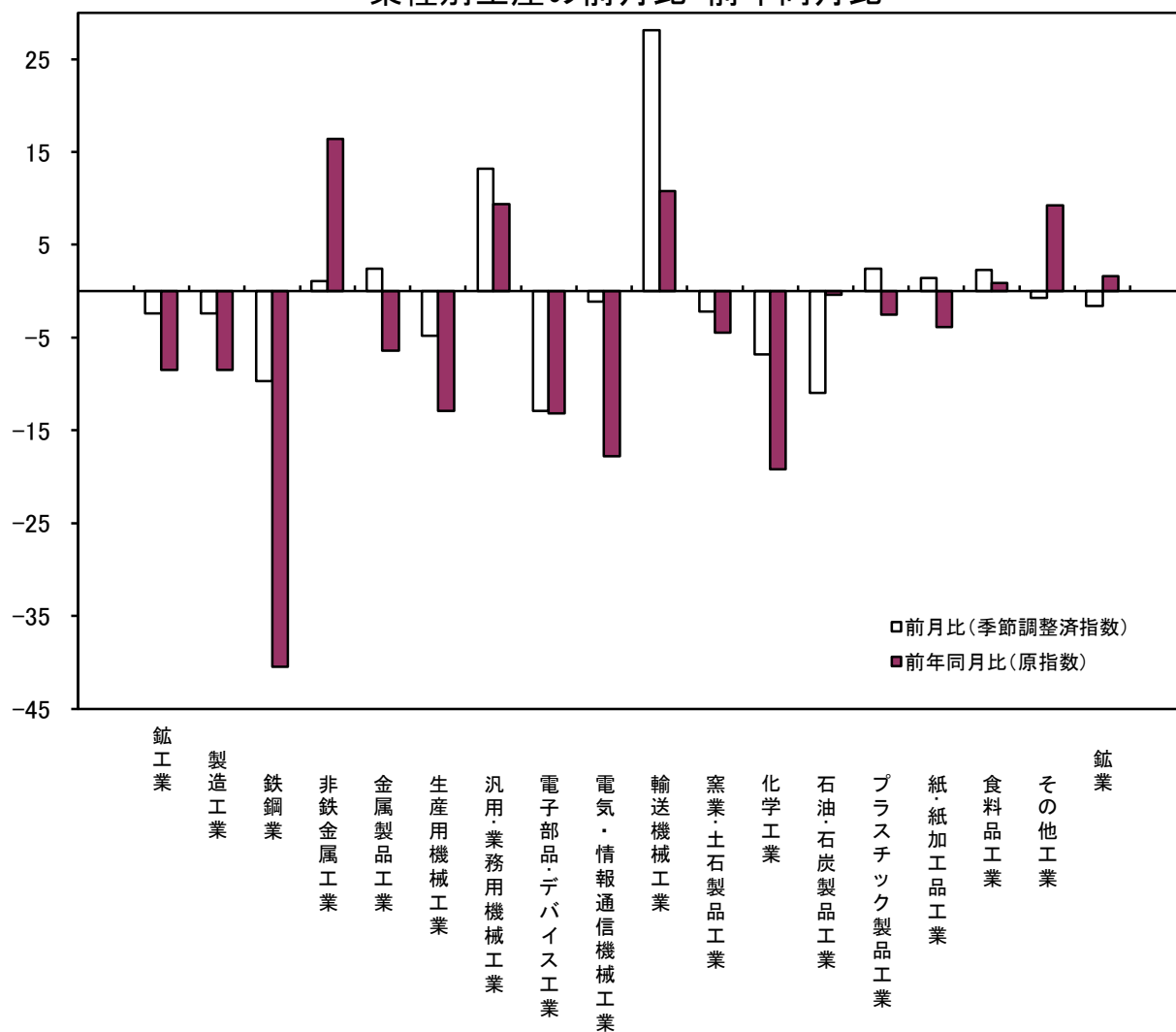
(注)業種は増減率の大きいもの、数値は前月比(%), 品目は寄与率の大きいもの

第4表 品目別動向

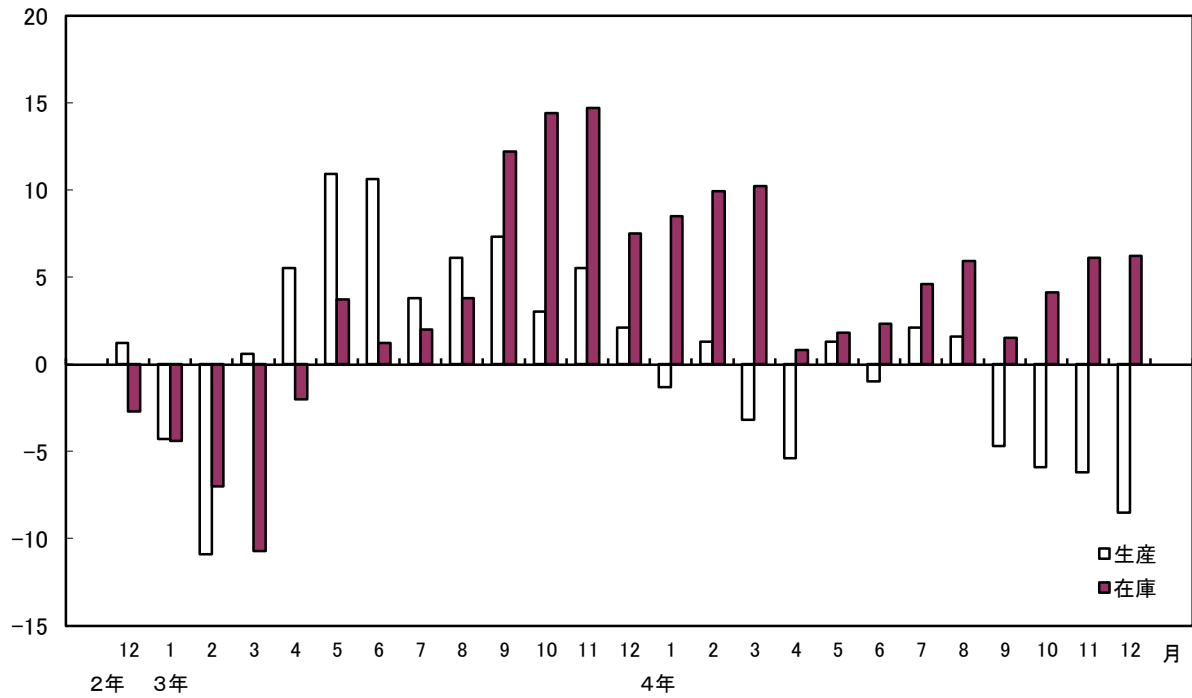
項目	上 昇	低 下
生産指数	フェノール(化学工業)	合成洗剤(化学工業)
	蒸留酒(食品工業)	軽油(石油・石炭製品工業)
	油脂(食品工業)	ジェット燃料油(石油・石炭製品工業)
出荷指数	通信用ケーブル光ファイバ製品(非鉄金属工業)	軽油(石油・石炭製品工業)
	普通鋼冷延広幅帯鋼(鉄鋼業)	粗鋼(鉄鋼業)
	ジェット燃料油(石油・石炭製品工業)	その他の飲料(食品工業)
在庫指数	軽油(石油・石炭製品工業)	ジェット燃料油(石油・石炭製品工業)
	混成酒(食品工業)	ショベル系掘削機械(生産用機械工業)
	通信用ケーブル光ファイバ製品(非鉄金属工業)	合成ゴム(化学工業)

(注)品目は寄与率の大きいもの

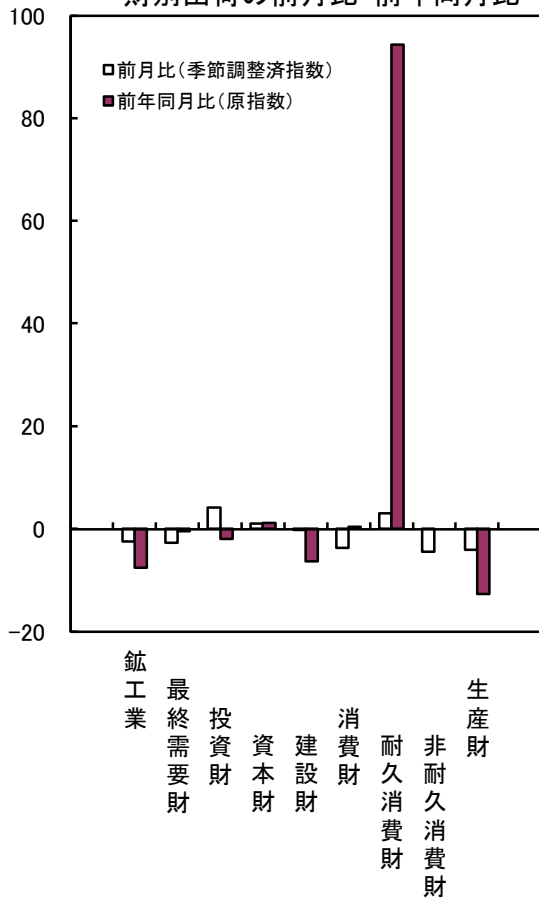
業種別生産の前月比・前年同月比



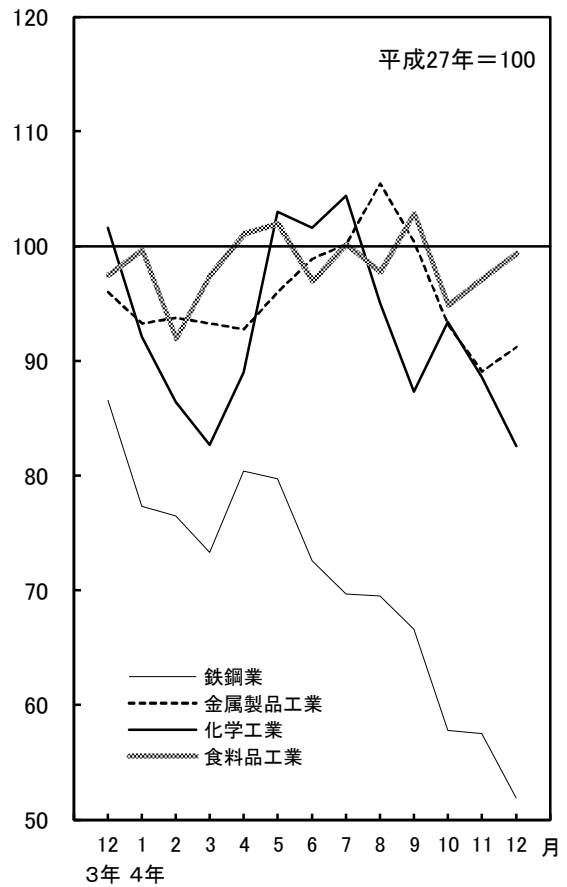
生産・在庫の前年同月比(原指数)



財別出荷の前月比・前年同月比



主要業種の生産(季節調整済指数)



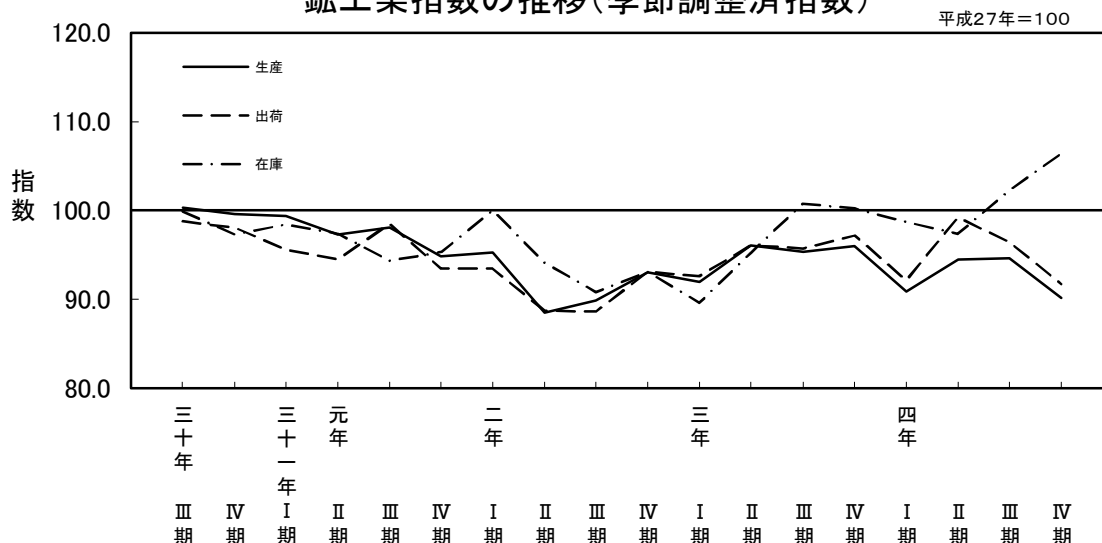
〈令和4年第Ⅳ四半期(10月～12月期)の動き〉

(注)平成31年・令和元年第Ⅱ四半期(4月～6月期)は以後「元年Ⅱ期」と表記します。

概況(季節調整済指数)

- 生産指数は、90.1で前期比△4.8%の低下となりました。
業種別にみると、汎用・業務用機械工業、電気・情報通信機械工業等が上昇し、鉄鋼業、金属製品工業等が低下しました。
- 出荷指数は、91.7で前期比△4.9%の低下となりました。
業種別にみると、汎用・業務用機械工業、電気・情報通信機械工業等が上昇し、輸送機械工業、非鉄金属工業等が低下しました。
- 在庫指数は、106.4で前期比4.0%の上昇となりました。
業種別にみると、非鉄金属工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、生産用機械工業、汎用・業務用機械工業等が低下しました。

鋳工業指数の推移(季節調整済指数)



第1表 鋳工業指数の状況

項目	季節調整済指数		前期比 (%)	原指数		前年同期比 (%)
	4年7～9月期	4年10～12月期		3年10～12月期	4年10～12月期	
生産指数	94.6	90.1	△ 4.8	99.7	92.8	△ 6.9
出荷指数	96.4	91.7	△ 4.9	102.2	95.6	△ 6.5
在庫指数	102.3	106.4	4.0	97.0	103.0	6.2
在庫率指数	113.8	126.0	10.7	103.7	116.5	12.3

第2表 鋳工業指数の推移

年 期	令和2年	令和3年				令和4年			
	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
生産指数	93.0	91.9	96.1	95.3	96.0	90.9	94.5	94.6	90.1
前年同期比	△ 1.0	△ 4.7	8.9	5.8	3.5	△ 1.2	△ 1.8	△ 0.4	△ 6.9
前期比	3.6	△ 1.2	4.6	△ 0.8	0.7	△ 5.3	4.0	0.1	△ 4.8
出荷指数	93.1	92.6	96.1	95.7	97.2	92.1	99.2	96.4	91.7
前年同期比	1.0	△ 2.6	8.4	7.2	5.0	△ 0.6	3.2	1.2	△ 6.5
前期比	5.1	△ 0.5	3.8	△ 0.4	1.6	△ 5.2	7.7	△ 2.8	△ 4.9
在庫指数	93.1	89.6	95.2	100.8	100.2	98.7	97.4	102.3	106.4
前年同期比	△ 2.7	△ 10.7	1.2	12.2	7.5	10.2	2.3	1.5	6.2
前期比	2.5	△ 3.8	6.3	5.9	△ 0.6	△ 1.5	△ 1.3	5.0	4.0
在庫率指数	108.9	108.8	107.2	111.0	112.2	118.1	103.1	113.8	126.0
前年同期比	△ 2.3	△ 2.1	△ 11.3	△ 5.0	2.8	8.5	△ 3.9	2.6	12.3
前期比	△ 7.0	△ 0.1	△ 1.5	3.5	1.1	5.3	△ 12.7	10.4	10.7

(注)各指数及び前期比(%)は季節調整済指数,前年同期比(%)は原指数による。

第3表 業種別動向

項目	上 昇		低 下	
	業 種	品 目	業 種	品 目
生産指数	汎用・業務用機械工業	12.5	蒸気タービン部品	鉄 鋼 業 △ 18.8
	電気・情報通信機械工業	11.7	医用電子応用測定器	金 属 製 品 工 業 △ 10.6
	非鉄金属工業	4.1	通信用ケーブル光ファイバ製品	電子部品・デバイス工業 △ 9.0
出荷指数	汎用・業務用機械工業	29.1	ポンプ	輸 送 機 械 工 業 △ 31.3
	電気・情報通信機械工業	12.8	医用電子応用測定器	非 鉄 金 属 工 業 △ 15.7
	生産用機械工業	6.7	シヨベル系掘削機械	鉄 鋼 業 △ 14.9
在庫指数	非鉄金属工業	40.0	通信用ケーブル光ファイバ製品	生産用機械工業 △ 26.1
	石油・石炭製品工業	15.1	軽 油	汎用・業務用機械工業 △ 25.8
	金属製品工業	9.7	飲料用アルミニウム缶	鉄 鋼 業 △ 7.0

(注)業種は増減率の大きいもの、数値は前期比(%), 品目は寄与率の大きいもの

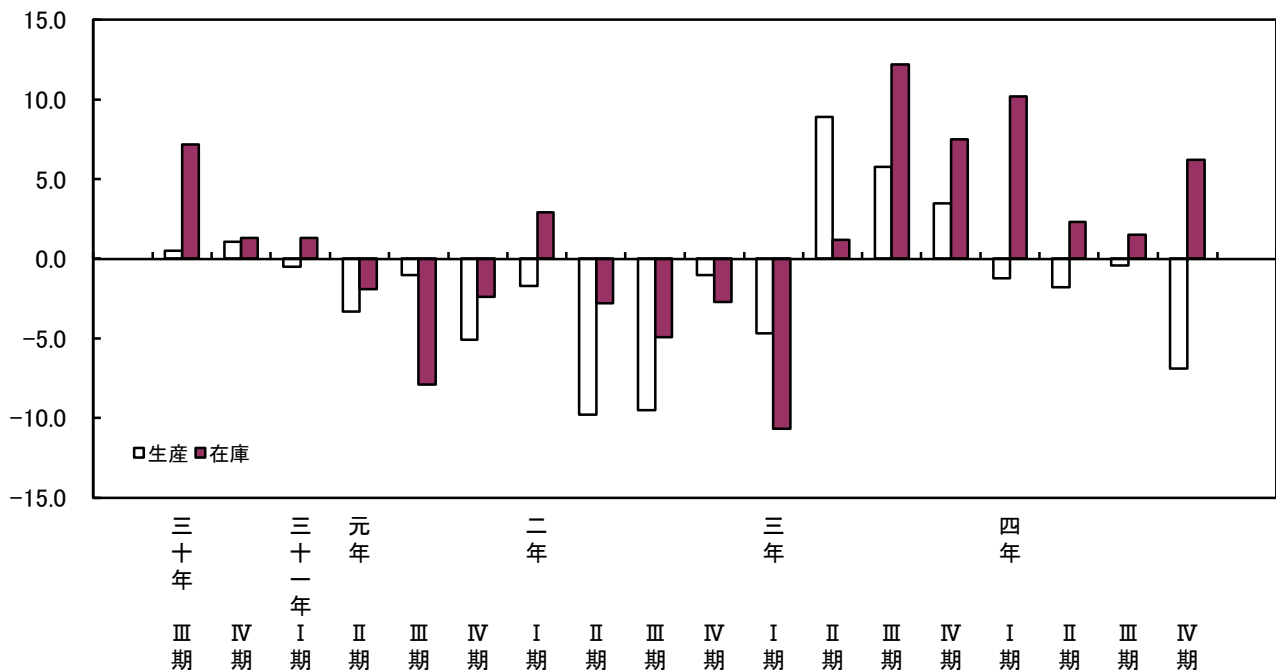
(※)千葉県鉱工業指数は季節調整に直接法を採用しているため、業種と品目の指数を別々に算出しています。そのため低下業種であっても該当なしの場合があります。

第4表 品目別動向

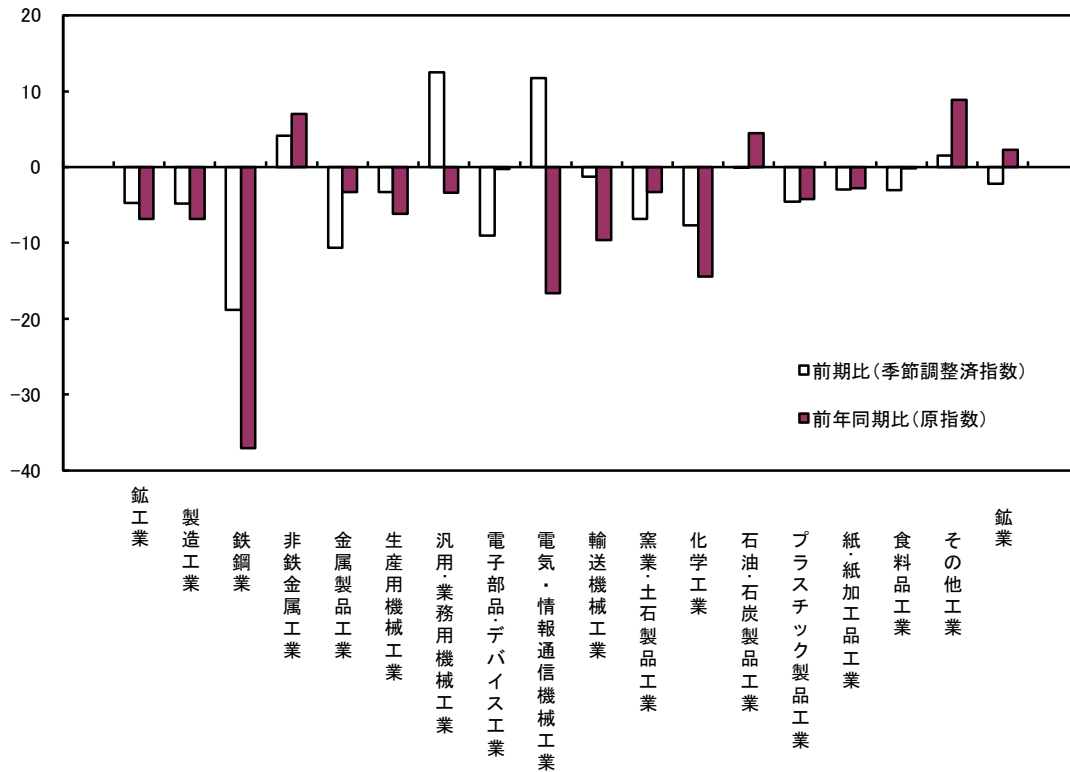
項目	上 昇		低 下	
	業 種	品 目	業 種	品 目
生産指数	シヨベル系掘削機械(生産用機械工業)		粗 鋼(鉄 鋼 業)	
	通信用ケーブル光ファイバ製品(非鉄金属工業)		鉄 骨(金属製品工業)	
	蒸気タービン部品(汎用・業務用機械工業)		合 成 ゴ ム(化学工業)	
出荷指数	シヨベル系掘削機械(生産用機械工業)		粗 鋼(鉄 鋼 業)	
	ポンプ(汎用・業務用機械工業)		重 油(石油・石炭製品工業)	
	ガソリン(石油・石炭製品工業)		鉄 骨(金属製品工業)	
在庫指数	通信用ケーブル光ファイバ製品(非鉄金属工業)		ポ ン プ(汎用・業務用機械工業)	
	軽 油(石油・石炭製品工業)		ジ ェ ッ ト 燃 料 油(石油・石炭製品工業)	
	ガソリン(石油・石炭製品工業)		シヨベル系掘削機械(生産用機械工業)	

(注)品目は寄与率の大きいもの

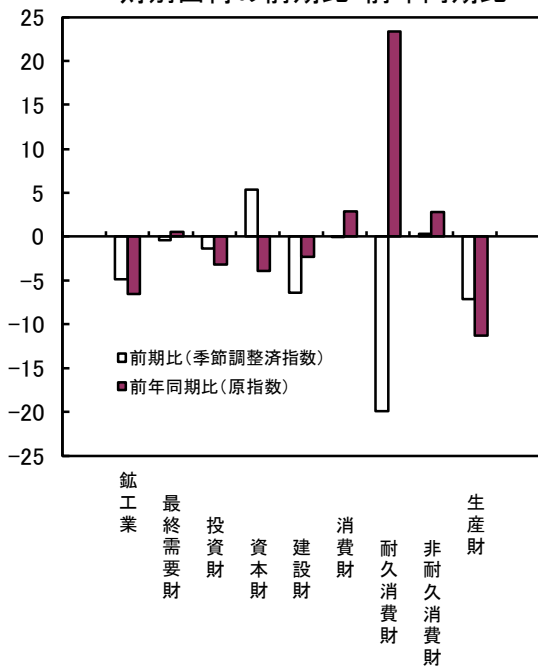
生産・在庫の前年同期比(原指数)



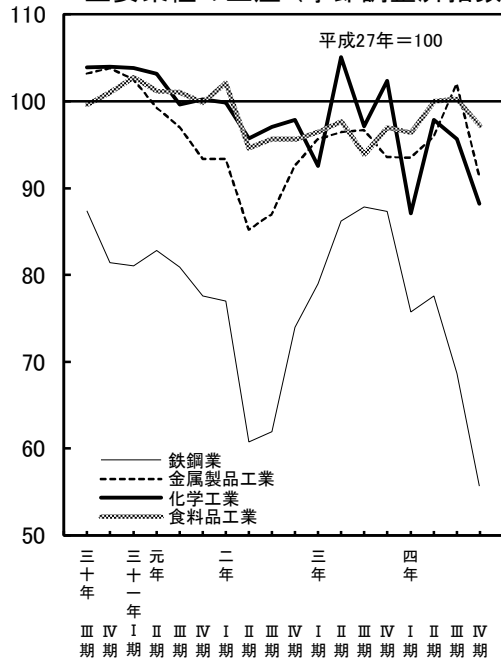
業種別生産の前期比・前年同期比



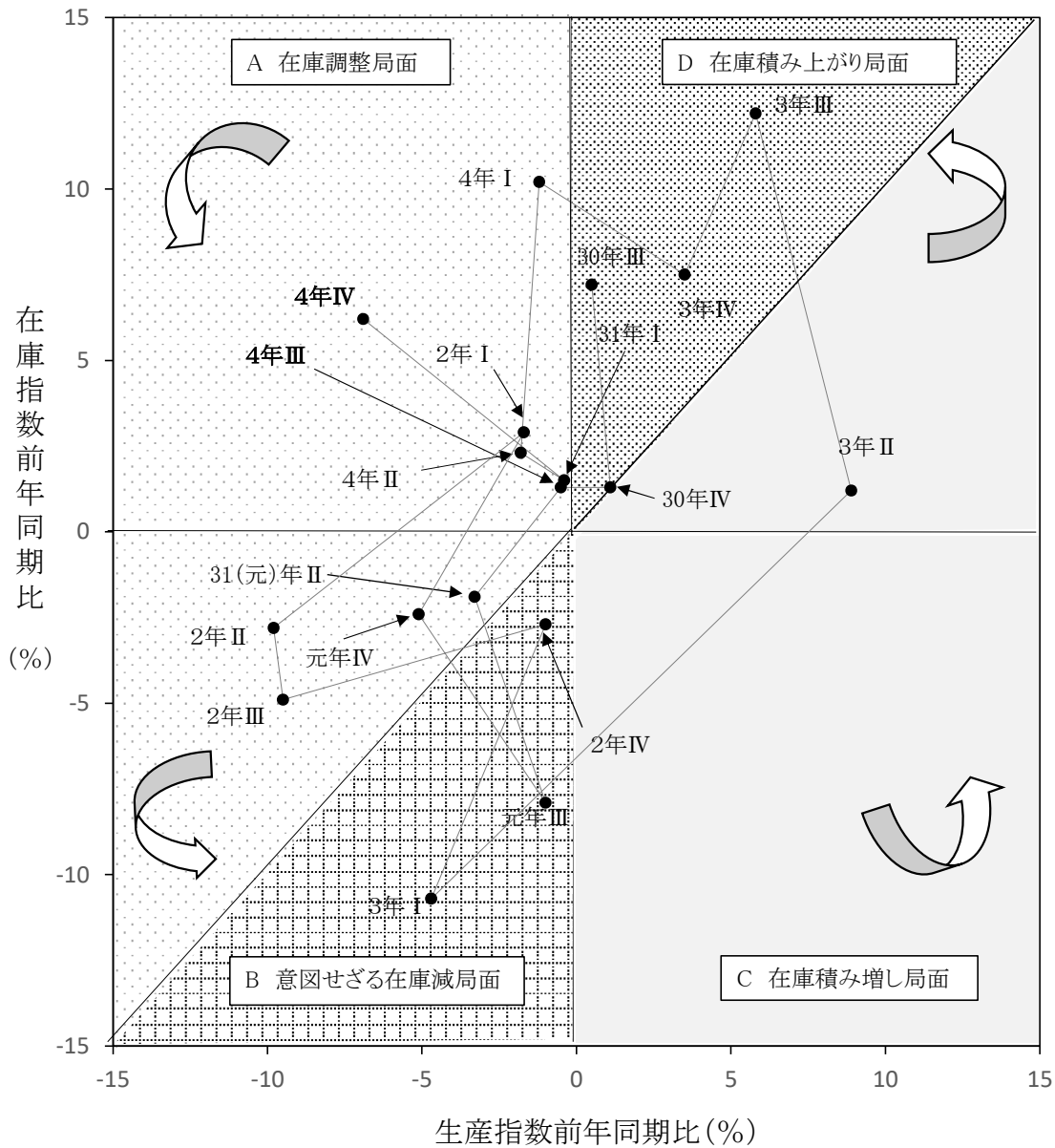
財別出荷の前期比・前年同期比



主要業種の生産(季節調整済指数)



生産・在庫の関係と在庫局面(在庫循環図)



各在庫局面の説明

- A
 在庫調整局面 …………… 在庫過剰のため、生産を抑えて在庫を調整する。
 (景気後退期)
- B
 意図せざる在庫減局面 …………… 需要が回復し始めるが、生産は停滞しており、在庫が減少する。
 (景気拡大初期)
- C
 在庫積み増し局面 …………… 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対応する。
 (景気拡大期)
- D
 在庫積み上がり局面 …………… 供給が需要より多くなると、在庫過剰になり在庫の積み上がりが起きる。
 (景気後退初期)

業種別生産指数

Table of industry production indices for 2015 (Heisei 27). Columns include industry names (e.g., 鉄鋼業, 化学工業) and their respective indices. A large asterisk (※) is placed above the table. Includes a note at the bottom: (注1)令和4年の数値は速報値 (注2)※は業種別分類の16業種を示す。

(注1)令和4年の数値は速報値 (注2)※は業種別分類の16業種を示す。

業種別出荷指数

Table of industry shipment indices for 2015 (Heisei 27). Columns include industry names (e.g., 鉄鋼業, 化学工業) and their respective indices. A large asterisk (※) is placed above the table. Includes a note at the bottom: (注1)令和4年の数値は速報値 (注2)※は業種別分類の16業種を示す。

(注1)令和4年の数値は速報値 (注2)※は業種別分類の16業種を示す。

利 用 上 の 注 意

1 指数の種類、ウェイト算定基準及び採用品目数

指数の種類	基準時	ウェイト算定基準	採用品目数
生産指数	平成27年	付加価値額	244
出荷指数	平成27年	出荷額	244
在庫指数	平成27年	在庫額	166
在庫率指数	平成27年		

※ 指数値は、平成27年の平均値を100.0とした比率で示しています。

2 分類

日本標準産業分類を基本とした業種分類、財の用途に着目した特殊分類です。

3 ウェイトの算定

生産指数、出荷指数及び在庫指数のウェイトは、それぞれ基準時の付加価値額、出荷額及び在庫額の鉱工業全体に対する各品目の1万分比です。

4 指数の算出

生産指数、出荷指数及び在庫指数は、個別系列（採用品目）を指数化し基準時の固定ウェイトで加重平均するラスパイレス算式を採用しています。

$$\text{総合指数} = \frac{\left[\frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times \text{基準時ウェイト} \right] \text{の総和}}{\text{基準時ウェイトの総和}} \times 100$$

ただし、在庫率指数（出荷に対する在庫の割合を表す指数）は、次の式を用いています。

$$\text{総合在庫率指数} = \frac{\left[\frac{\frac{\text{比較時の在庫数量}}{\text{比較時の出荷数量}}}{\frac{\text{基準時の在庫数量}}{\text{基準時の出荷数量}}} \times \text{基準時在庫額ウェイト} \right] \text{の総和}}{\text{基準時在庫額ウェイトの総和}} \times 100$$

5 季節調整

季節調整とは、1年を周期とする季節変動要素（社会的慣習、制度、気象条件等）を除去することを言います。本県では、生産・出荷指数については、米国センサス局のX-12-ARIMA、在庫・在庫率指数については、X-11デフォルトを用いて季節指数を求め、調整前の指数（原指数）を季節指数で除して季節調整済指数を算出しています。

6 寄与率

総合の増減に対して、その内訳である業種や品目の影響の度合いがどれくらいあるかを示すもので総合の増減を100にしたときの構成比を表します。

7 資料

採用品目の月々の生産数量等は、経済産業省生産動態統計調査の結果を基準資料とし、併せて、千葉県工業生産動態統計調査の資料を使用しています。

8 年間補正

1年間の実数値がすべて確定した時点で年間補正作業を行い、指数をすべて計算し直し、その結果を確定値として「千葉県鉱工業指数年報」にて公表しています。したがって、本書記載の指数値は修正されることがあります。

9 指数値等の表示方法

- (1) 指数値は、暦年別及び月別に算出し、表示しています。
- (2) 暦年指数値及び前年同月比は、原指数によって算出し、表示しています。
- (3) 前月比は、季節調整済指数によって算出し、表示しています。
- (4) 暦年指数値は、1～12月の平均指数値です。ただし、在庫指数は、年末の指数値です。
- (5) 各数値の掲載単位未満は、すべて四捨五入しています。

10 符号の用法

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 「－」 ……該当数値のないもの | 「△」 ……比較減を示す |
| 「0.0」 ……掲載単位に満たないもの | 「X」 ……数値を秘匿したもの |

※ 令和3年以前の数値は確報値です。

※ 令和4年1月～3月の数値は、年間補正に伴い再計算した数値です。

※ 令和4年の数値は、推計値を含む速報値であり、後日公表する数値と相違することがあります。

千葉県鉱工業指数月報 Vol.44 No.11

令和4年12月分

発行日 令和5年2月28日

編集・発行 千葉県総合企画部統計課

所在地 千葉市中央区市場町1-1

電話 043-223-2227 FAX 043-227-4458

<https://www.pref.chiba.lg.jp/toukei/toukeidata/koukougyou/>